

アドホック・レポーティング

*EspressReport® ES*

Free Development resources  
And empower end users  
With simple interfaces and  
Zero training

## 概要

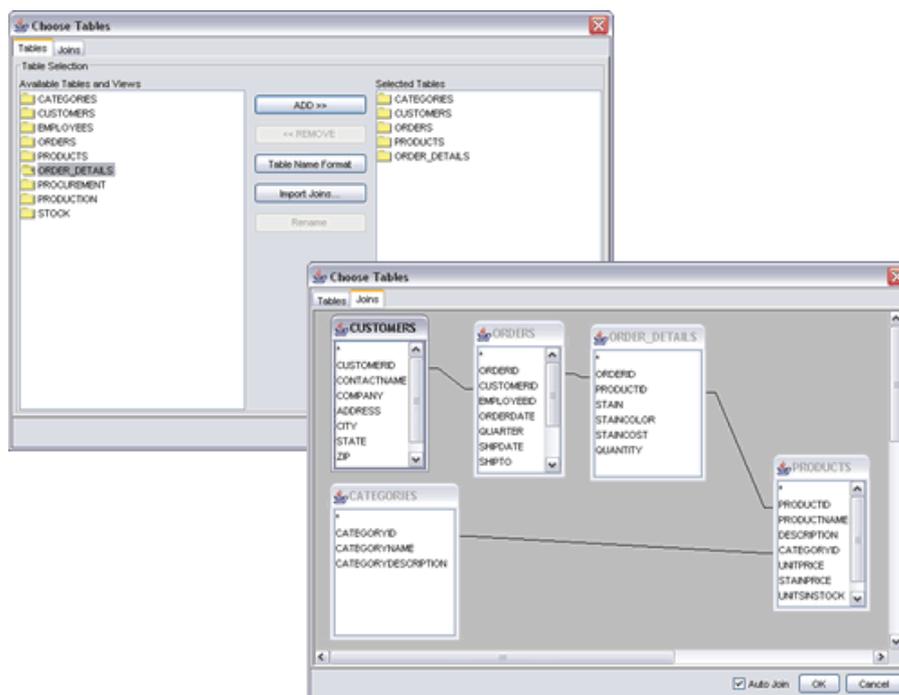
エンタープライズでのレポート環境では決まりきったレポートのみが使用されています。組織内のユーザやグループでは多くの特別で、ユニークなレポートの要求があるはずです。そんな個々の要求に IT や開発リソースをつぎ込むことは時間消費で、繰り返して、生産性を低減させます。最適なオプションはユーザが独自のレポートを作成することです。しかし、たいていのアドホック（その現場での）的なレポート・ソリューションは高度なビジネス・ソリューションを対象にした機能セットで、複雑なツール提供になっています。通常ユーザは広範囲なトレーニング無しでは、そのようなソリューションの機能を使いこなすことはできません。

EspressReport® ES はトレーニングを必要とせずに、ユーザがエンタープライズ内でどんなデータ・ソースからでもクエリ構築、レポート作成、その結果の公開を可能とする、単純で、シンクライアントなクエリとレポート・インターフェイスを提供できます。

## Data Views – メタ・データの定義

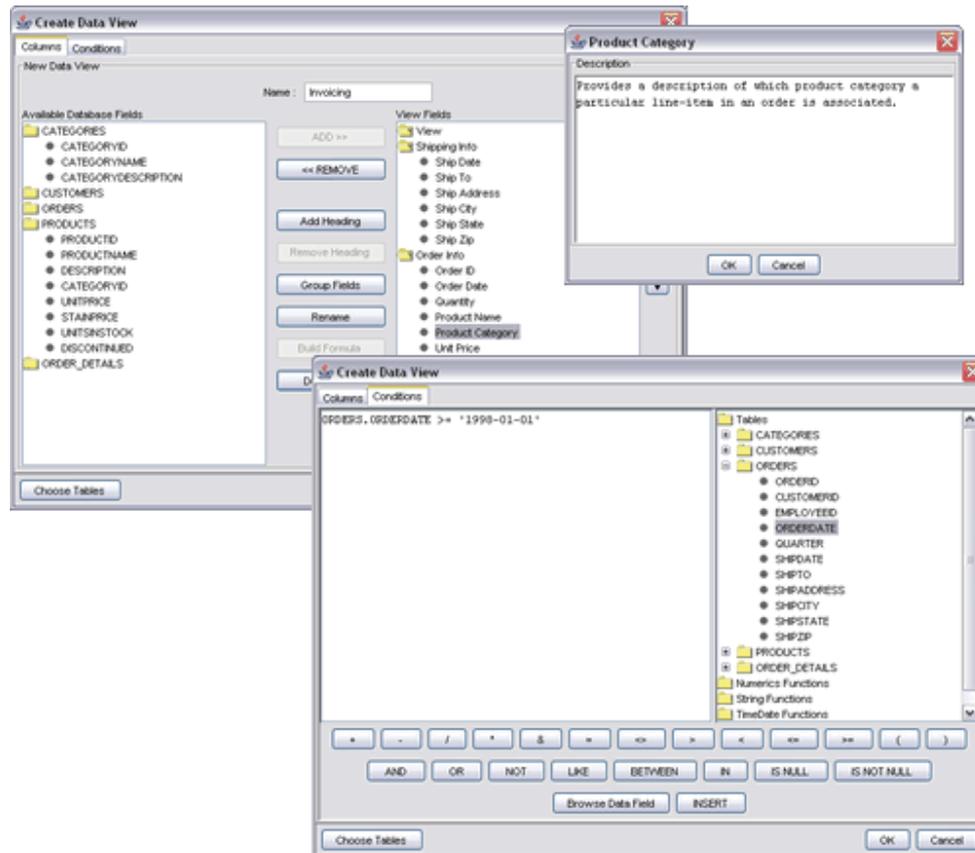
「Data Views」は簡易ビジネス用語を使用してのエンタープライズ情報のカスタムなローカル・ビューです。強力な機能で、データベースの複雑性から切り離して、分かり易い用語で記述したフィールドを選択して簡単にクエリを構築できます。

「Data Views」は Organizer 内でデータ・レジストリの一部として作成できます。管理者は最初にエンドユーザに提供するデータベース・テーブルの選択、ジョイン（結合）を行います。



選択、結合されたテーブルに対して、管理者はエンドユーザが選択するフィールド・セット選択します。選択したフィールドは基本データベース構造から独立して、ビジネス・ラインに沿った組織構成としての導入が可能で、カスタム的な見出しでエリアスとグループ化が可能です。さらに概要説明はどのフィールドにでも入力、ストア可能です。

パーマメント・フィルタリング・コンディションはビューが可能です。この機能を使用して、管理者はユーザがビューに対してクエリを作成する時のリトリブするデータ範囲を制限することができます。

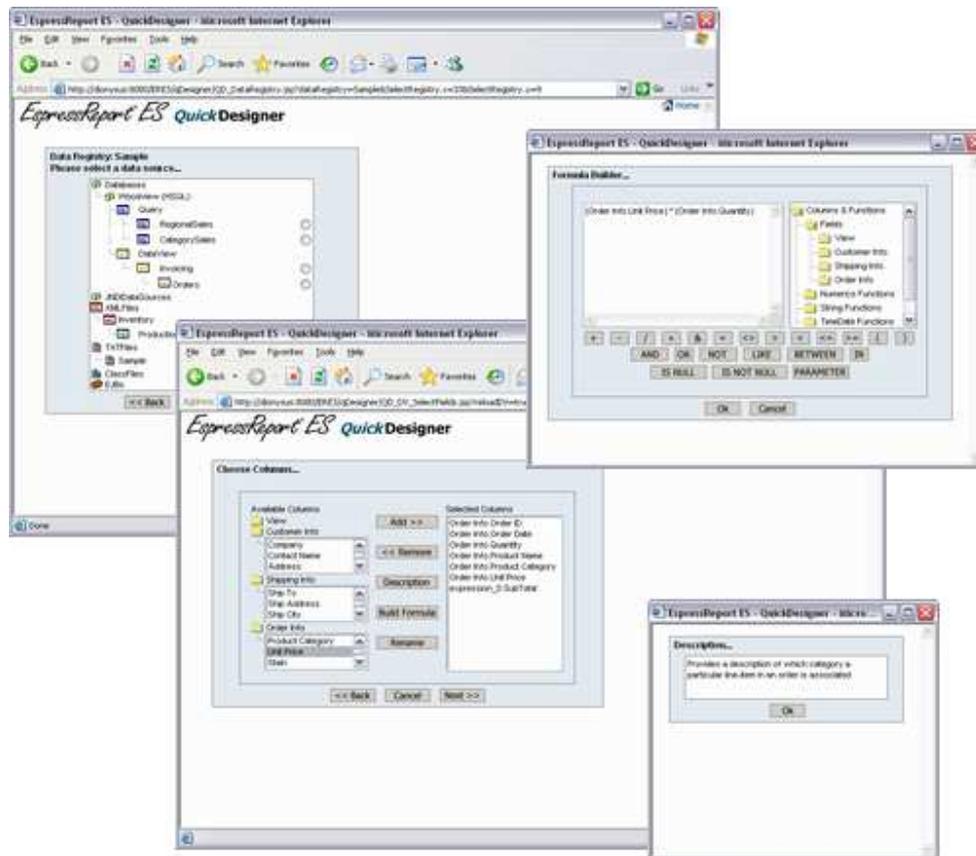


ビューが完成すれば、ユーザは予め定義したフィールド・リストから選択をして、クエリを作成することができます。ユーザは計算フィールドの作成、ソート/アグリゲーションの実行、そしてクエリに対するフィルタとパラメータの追加が可能です。内蔵型 SQL 最適化機能がエンドユーザがクエリを実行したときに適切なテーブルとジョインだけが使用され、できるだけ早くクエリが返されることを確実にします。

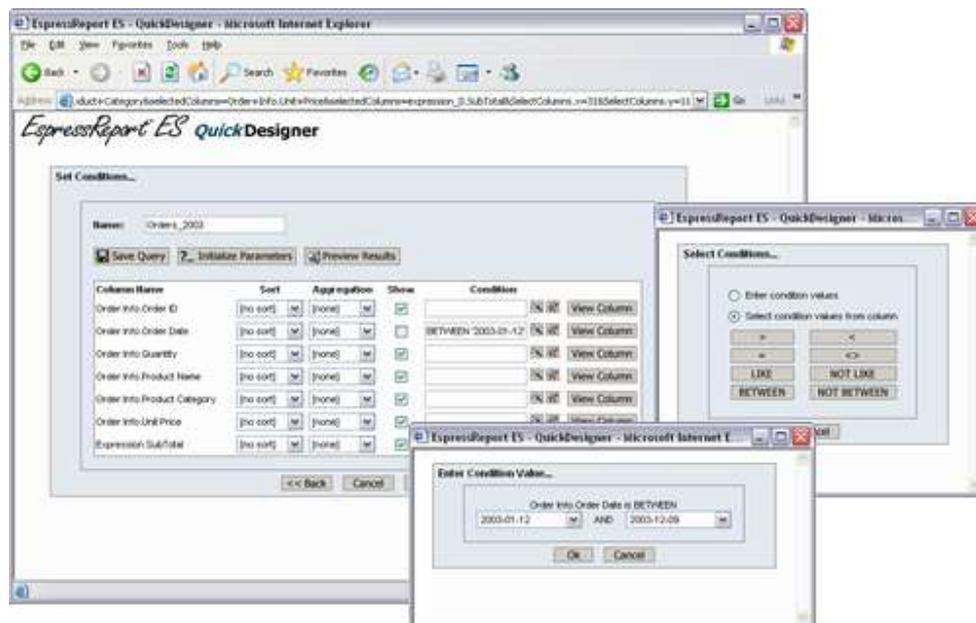
### QuickDesigner – ゼロ・クライアント・クエリとレポート

EspressReport ES でのアドホック・クエリとレポートは QuickDesigner インターフェイスを活用して作成されます。この HTML ベースのシンクライアント・ツールを使用してユーザは定義されたエンタープライズのデータからレポートを作成し、「Data Views」に対してクエリを作成することができます。簡単なポイント・アンド・クリック・インターフェイスが短期間の習得が可能とし、基本的なレポート機能の早期マスターが可能です。

QuickDesigner を稼働させて、ユーザに定義されたデータソースのビューを提供します。どのデータソースもレポート用に選択可能で、クエリを作成するために「Data View」を選択することができます。クエリを作成したら、グループ化ごとの見出しで、すべての定義されたフィールド・リストをデータ・ビューとしてユーザに提供します。ユーザはそれからフィールドを選択し、計算カラムを作成するフォーミュラ・ビルダを実行させます。

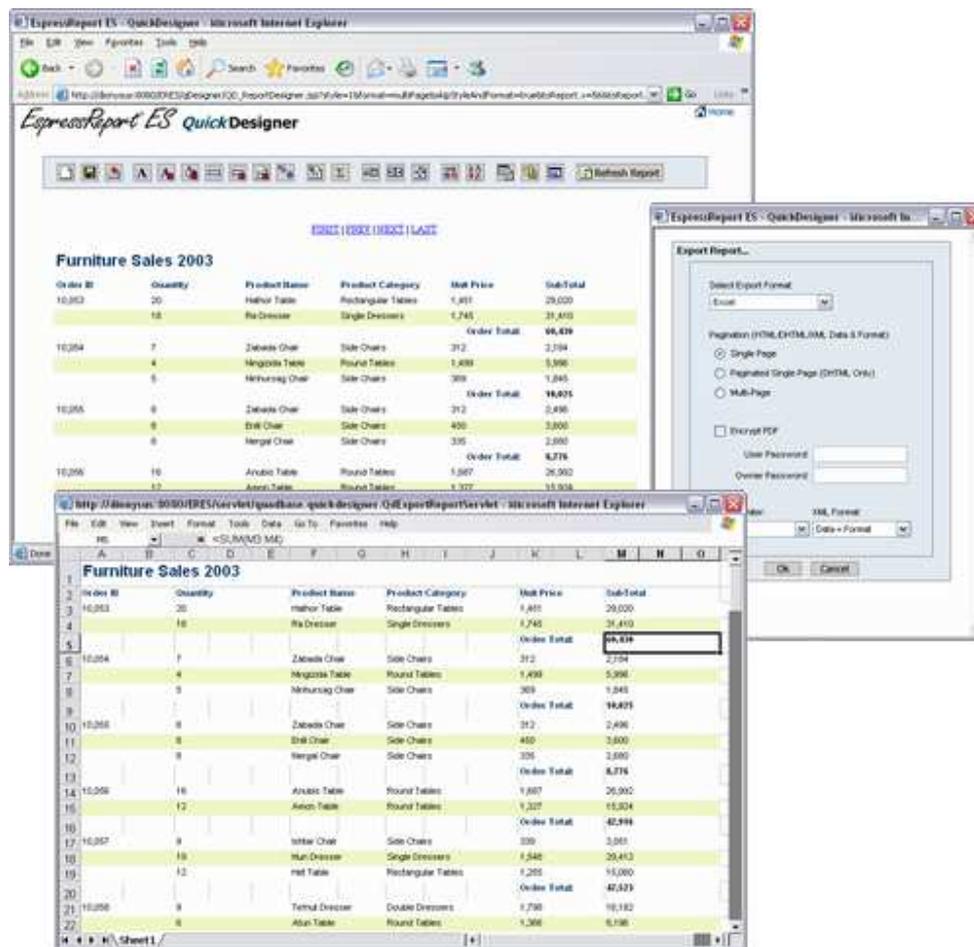


カラム選択後、ユーザはコンディション・ウィンドウでソート、グループ化、パラメータを適用させることができます。分かり易い条件ウィザードを使用してユーザはドロップ・ダウン・リストから値を選択して、数クリックでフィルタリングを実行させることができます。このウィンドウで、ユーザはクエリ結果のプレビューし、それをデータ・レジストリに戻し保存することができます。



新たなクエリ作成や、他のデータソースは QuickDesigner の report designer 部分に移動します。このインターフェイスでレポートのグループ化/要約化、ソートの変更、カラム・オーダの変更が可能です。ウィンドウのトップにある分かり易いツールバーを使用して基本的なレポートのフォーマティングの実行、色、フォント、データ・フォーマットの設定が可能です。またレポートのタイトル、ラベル、日付/ページの追加が可能です。

追加の変更が必要な時は、簡単に designer からレポートのカラムやフィルタの変更のクエリ・インターフェイスにスイッチすることができます。レポートが一旦終了したら、ユーザは PDF や MS Excel のような数多いフォーマットでクライアントに戻すことができます。また終了したレポートはサーバサイドに保存して、他のユーザに公開、共有することができます。



QuickDesigner は EspressoReport ES に同梱されています。Data View インターフェイスは EspressoReport と EspressoReport ES で利用可能です。詳細については [www.climb.co.jp/soft/](http://www.climb.co.jp/soft/) と [www.quadbase.com](http://www.quadbase.com) を参照ください。

Copyright © 2005 Quadbase Systems, Inc. All rights reserved. EspressoReport is a registered trademark of Quadbase Systems. All other trademarks belong to their respective owners. 翻訳©株式会社クライム